

トルクメニスタンのメディアにおける新型コロナウイルス感染症 関連報道のテキスト分析 —国営、民間、独立系メディア各ニュースサイトの感染症報道に みられる特徴の比較—

鈴木朝香¹ 塚越柚季² 大向一輝²

概要：本発表は、中央アジアのトルクメニスタンに関する報道をする、3つのオンラインニュースサイトにおいて、2020年1月から2023年5月までに発表された、新型コロナウイルスの語を含むロシア語記事計2560件の本文テキストを共起語分析とトピック分析にかけた結果を報告する。国営メディアでは、新型コロナウイルスの語と感染対策や経済危機対応に関する語の共起が多く、政府公認の民間メディアでは、これに海外の感染状況や外国政府のコロナ政策に関するニュースが加わるが、反体制的な独立系メディアでは、国内の感染状況への言及が多くみられた。本発表では、中央アジア地域研究における研究蓄積に基づいて、権威主義体制の持続性に関する3つの観点から、結果の解釈を試みる。

キーワード：テキスト分析、共起語、トピック、新型コロナウイルス、トルクメニスタン

Text Analysis of COVID-19 News Articles in Turkmenistan: A Comparative Study on State-Owned, Private, and Independent Media Reports

ASAKA SUZUKI¹ YUZUKI TSUKAGOSHI² IKKI OHMUKAI²

Abstract: This study conducts co-occurrence and topic analysis on the texts of 2560 news articles about COVID-19 in Russian, published from January 2020 to May 2023 by three internet-based media organizations of Turkmenistan in Central Asia. As a result, we find state-owned media showed frequent co-occurrences of COVID-19 and measures against infection and economic crises, and private media covered news on situations in foreign countries but not in Turkmenistan. In contrast, independent media often discussed domestic situations of the pandemic. Finally, we present an interpretation of the results based on three perspectives concerning the sustainability of authoritarian regimes.

Keywords: Text Analysis, Co-Occurrence, Topic, COVID-19, Turkmenistan

1. はじめに

権威主義体制は、選挙による統治の正統性の確保が難しいため、情報の操作・統制を体制維持のための手段として用いる[1][2]。権威主義体制による情報統制は、中国やロシアなどの大国を中心に比較政治学分野で盛んに研究されているが、その様相は多様であり、その国が抱える歴史的・経済的背景や、その国のおかれた国際情勢によって異なる。本研究は、権威主義体制による情報統制の一例として、中央アジアの国トルクメニスタンを事例に扱う。

トルクメニスタンは、1991年に独立した旧ソ連構成共和国の一つである。基幹民族はトルクメン人であるため、国家語としてトルクメン語が定められているが、ソ連時代の影響でロシア語も広く通用する。国の主要産業は天然ガスや石油などの鉱業で、主に中国やロシアに対して輸出してきた[3]。しかし、内海のカスピ海には面しているが、周辺はイラン、アフガニスタン、ウズベキスタン、カザフスタ

ンに囲まれており、輸出先拡大には多くの困難を伴うことから、経済状況が安定的かは定かでない[4]。またトルクメニスタンは、1995年12月の国連総会において「永世中立国」としての立場が承認され、地域機構には基本的にオブザーバーとして参加するなど、他の中央アジア諸国と比べて独自の外交を展開する国でもある。

上記のような歴史的・経済的・政治的背景をもつトルクメニスタンは、政府による情報統制が厳しく、表現の自由が甚だしく侵害されている国と評価されている[5]。特に新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおいては、政府が国内に感染者はいないと主張し、現時点においても世界保健機関（WHO）の「COVID-19 ダッシュボード」に症例報告0と表示されている[6]。パンデミック初期には、「コロナウイルス」という言葉の使用禁止にしたとも言われたが[7]、国内メディアを観察していると、コロナウイルスを意味する単語は散見される。

そこで本研究では、トルクメニスタンのオンラインニュ

¹ 東京大学大学院学際情報学府 (suzuki-asaka752@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)

² 東京大学大学院人文社会系研究科

ースサイトにおける新型コロナウイルス関連記事进行分析し、同国のメディアにおいて、新型コロナウイルスの語がどのような文脈・テーマで使用されていたかを明らかにする。これにより、トルクメニスタン政府による情報統制の一端を解明する。

2. データについて

2.1 データの説明

本研究で対象とするデータは、トルクメニスタンに関する報道を行う3つのオンラインニュースサイトで掲載された新型コロナウイルスの語を含む記事の本文テキストである。政治的立場と運営母体の異なる3つのサイトを比較し、各メディアにおいて新型コロナウイルスに関する情報がどのように報道されていたかを分析する。

一つ目のサイトは、国営通信社が運営する *Türkmenistan Altyn Asyr* (以下、国営メディア) である。トルクメニスタンにおいて、テレビ局やラジオ局、出版社などのマスメディアは、その設立に国の許認可が必要である[8]。また国家原則に準拠しないマスメディアは、国の規制機関の申立てにより裁判所によってその活動が一時停止または停止され、裁判所により活動を停止された報道機関の再登録は認められない[9]。このため、国営メディアは実質的に政府の直接的な指導下にあると考えられる。

二つ目は、国内での活動を許可されており、広告費で運営する民間の情報ポータルサイト *Turkmenportal* (以下、民間メディア) である。*Turkmenportal* は、ジャーナリストやビジネスマン、様々な専門家などから記事の投稿を募集している市民の参加可能なポータルサイトである。民間メディアは、国営メディアのように政府の直接的な指導を受けないが、国内活動の継続のために政府方針に則っていると考えられる。

三つ目は、政府により国内での報道活動を妨害されている *Хроника Туркменистана* (以下、独立系メディア) である。同サイトの運営母体はウィーンに拠点をもつトルクメニスタンの人権団体 *Turkmen Initiative for Human Rights* で、政府の方針には従わず独自の報道活動を展開している。国内のメディアになく、同メディアの報道に限って確認される情報は、政府が統制の対象にしていると考えられる。

対象期間は、WHO が新型コロナウイルスの「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言した 2020 年 1 月から、その終了を発表した 2023 年 5 月までとする。分析対象記事はロシア語で書かれたものとし、データは 2023 年 7 月から 8 月に Web スクレイピングによって収集した。取得したデータは、記事の発行年月日、タイトル、本文テキストである。各メディアの記事件数と分析対象とした記事数は表 (1) の通りである。

表 1 分析データの概要

	国営	民間	独立系
対象期間の全記事数	10396	27350	4284
COVID を含む記事(1)	356	777	365
корона を含む記事(2)	409	989	514
(1)+(2)-重複する記事	578	1393	666
分析対象の記事	578	1347	666
全記事に対する割合	0.055	0.049	0.155

2.2 前処理の手順

3つのメディアのロシア語記事进行分析するために、以下の通りにデータを処理した。

まず対象期間すべての記事のなかから、新型コロナウイルスを意味する“covid”或いは“корона”をタイトルか本文中に含む記事を抽出した。その後“covid”と“корона”それぞれの文字列で抽出された記事を結合し、重複する記事を削除した。民間メディアのみ同サイトが 24 時間以内に掲載したニュースをまとめた記事も含まれていたため、内容の重複を避けるため、目視でこれを除外した。最後に記事を日付データによって昇順に並び替えた。

次に Anthony, L. (2024) によるフリーソフトウェア TagAnt (Version 2.1.1) により、本文テキスト中の単語をレマ化した。TagAnt は spaCy (Honnibal et al. 2020) を使った多言語タグ付けツールで[10][11]、他のツールと比較してロシア語のレマ化の精度が高い。しかし、一部の分析上重要な単語が処理されずに残ったため、これらは正規表現を用いた置換処理によって個別にレマ化した。ロシア語は数と性、また活動体・不活動体の違いにより格が6つに変化する言語である。そのため、置換は表 (2) のように行った。なお“коронавирус” (コロナウイルス) は、この後の分析で新型コロナウイルスを意味する語がどのような文脈・テーマで使用されていたかをみるために、その活用形及び形容詞形を“covid”に統一した。

表 2 正規表現によるレマ化の例

<code>(?=(^ ¥s))одного(?=(, ¥s))</code>	один
<code>коронавирус[^¥s]*(?=¥s)</code>	covid

3. 共起語分析の結果

はじめに Anthony, L. (2024) による AntConc (Version 4.3.1) の共起語分析により、各メディアにおいて新型コロナウイルスを意味する単語がどのような文脈で使用されていたかを探索。AntConc は Python と Qt で開発されたフリーソフトウェアで、非プログラマーも簡単にテキスト分析をすることが可能である[12]。本研究では、AntConc のデフォルト設定である MI スコアを用いて、新型コロナウイルスの共起語を分析した。データは一行に一記事が保存されているが、文章の区切りに関係なく前後 5 単語以内に共起

表3 各メディアにおける新型コロナウイルスの共起語

	国営メディア		民間メディア		独立系メディア	
1	пандемия	パンデミック	пандемия	パンデミック	пандемия	パンデミック
2	инфекция	感染症	инфекция	感染症	заражение	感染症
3	борьба	闘い	распространение	拡大	распространение	拡大
4	распространение	拡大	борьба	闘い	случай	事例, 症例
5	противодействие	抵抗	вакцина	ワクチン	наличие	存在
6	вызвать	引き起こす	тест	テスト	инфекция	感染症
7	заболевание	発病, 病気	вакцинация	ワクチン接種	эпидемия	エピソード
8	последствие	結果	случай	事例, 症例	тест	テスト
9	covid	COVID-19	реагирование	反応	борьба	闘い
10	геном	ゲノム	вызвать	引き起こす	связь	繋がり

する語を調べている。また前置詞、接続詞、助動詞などの機能語はストップワードに設定し、名詞、形容詞、動詞との共起関係を観察した。表(3)に示す各メディアの上位15までにリストされた共起語は、最低でも28回以上の頻度で共起しているものである。

3.1 「コロナウイルス」の共起語

まず、いずれのメディアにおいても最も共起が多かったのは「パンデミック」(пандемия)である。これは「COVID-19 パンデミック」(пандемия COVID-19)や、2番目によく共起している「感染症」(инфекция)、(заражение)と共に、「コロナウイルス感染症パンデミック」(пандемия коронавирусной инфекции)の句で、頻繁に用いられていた。このことから国内に新型コロナウイルスの感染者はいないとするトルクメニスタンにおいても、メディアはその感染症と世界的な大流行に言及していたことが確認できる。

次に共起することが多い単語は、国営メディアと民間及び独立系メディアで異なる。国営メディアでは「闘い」(борьба)が、民間メディアと独立系メディアでは「拡大」(распространение)が3番目に多く共起していた。前者は民間メディアでも4位、独立系メディアでも9位にランクしており、後者も国営メディアでは4番目によく共起する単語である。このため、これらの単語はいずれのメディアにおいてもよく共起することが分かる。

ここで国営メディアにおいて3番目に共起が多かった「闘い」(борьба)の共起語を確認する。表(4)の結果を見ると、国営メディアでは「コロナ」(covid)や「拡大」(распространение)、「パンデミック」(пандемия)の語が共

起しやすいことが分かる。しかし独立系メディアでは、「病気」(болезнь)、「緊急の」(чрезвычайный)、「委員会」(комиссия)など、「疾病蔓延防止緊急委員会」(Чрезвычайная комиссия по борьбе с распространением болезней)の名詞句に使われる語が上位を占めていた。

民間メディアも、国営メディアと同様に「コロナ」(covid)や「拡大」(распространение)の語が、「病気」(болезнь)や「緊急の」(чрезвычайный)より多く共起している。これは国内で活動するメディアでは、パンデミックや感染拡大への対抗を示す際に「闘い」(борьба)の語を使用するのに対して、独立系メディアでは疾病蔓延防止緊急委員会に関する記事において「闘い」(борьба)の語がコロナと共に用いられるという違いを表している。他の国営メディアにおける新型コロナウイルスの共起語も、その多くは感染症やパンデミックとの「闘い」(борьба)の文脈で登場していた。

3.2 “случай”の共起語

ここで独立系メディアにおいて4番目にランクしている“случай”に注目したい。“случай”は、「出来事」、「場合」、「事例」などの意味をもつ単語で、新型コロナウイルス感染症報道の文脈では「症例」と訳すことが適切と考えられる。民間メディアでも8位にランクしているが、国営メディアにおいては上位15位から外れている。メディアによって共起の仕方が顕著に異なる可能性が高いため、“случай”の共起語も詳しく確認する。

表(5)は、各メディアにおいて“случай”と前後5単語以内に共起することが多い上位10単語である。いずれの単語も最低10回以上の共起が確認されている。

表4 各メディアにおける「闘い」(борьба)の共起語

	国営メディア		民間メディア		独立系メディア	
1	covid	COVID-19	covid	COVID-19	болезнь	病気
2	пандемия	パンデミック	распространение	拡大	чрезвычайный	緊急の
3	распространение	拡大	болезнь	病気	комиссия	委員会
4	болезнь	病気	пандемия	パンデミック	распространение	拡大
5	инфекция	感染症	чрезвычайный	緊急の	covid	COVID-19

はじめに国営メディアを確認すると、新型コロナウイルスとは関連のない単語が共起していることが分かる。まず1番目の「利用する」(пользоваться)は、“пользоваться случаем”の成句で「～の機会を利用する」という意味で用いられ、コンコーダンスをみても、全てこの成句で“случай”と共起していることが確認できた。

また2番目以降の共起語には「～周年」(летие)、「お祝い」(поздравление)、「祝日」(праздник)、「記念日」(годовщина)などの単語が並んでいる。特に7番目に「独立」(независимость)、9番目、10番目にイスラム教の断食明けの祝日である「クルバン・バイラム」(курбан байрамы)が入っているように、国営メディアでは独立記念日やラマダン明けの祝日、祝賀イベントを話題とする文脈で“случай”が使用されていることが分かる。

次に民間メディアにおいて“случай”と共起する語をみる。上位8位までは新型コロナウイルス感染症に関する単語が並んでいるが、8番目、9番目で国営メディアにおいて上位2位までに入っていた「利用する」(пользоваться)と「～周年」(летие)がランクしている。このことから民間メディアでは、“случай”を「症例」と「機会」の両方の意味で使用していることが確認できる。

これに対して独立系メディアにおける“случай”の共起語は、1番目から10番目まで新型コロナウイルスと関連する単語が並んでいる。「登録する」(зарегистрировать)、「記録する」(зафиксировать)も、「トルクメニスタンでは感染症ウイルス COVID-19 の症例が一件も登録されていない」(в Туркменистане не было зарегистрировано ни одного случая инфицирования вирусом COVID-19)、「トルクメニスタンにおいては COVID-19 感染症の症例是一件も記録されていない」(в Туркменистане не зафиксировано ни одного случая заражения COVID-19)など、国内に新型コロナウイルス感染症患者はいないとする政府の公式見解に言及する際に使用されていた。

民間メディアでも国内に症例報告がないことに触れる一文はみられたが、「講演者たちは、トルクメニスタンで

は新型コロナウイルス感染者は一人も記録されておらず、疫学的状況は依然として良好であると指摘し、パンデミックが世界中の社会経済状況に及ぼす影響は避けられないとの点で一致した」(Отметив, что в Туркменистане не зафиксировано ни единого случая заражения коронавирусом инфекцией и сохраняется благоприятная эпидемиологическая ситуация, выступающие сошлись во мнении, что влияние пандемии на социально-экономическую ситуацию во всём мире неизбежно.) [13]のように、政府見解を肯定的に捉える表現が使われる傾向がみられた。また独立系メディアでは、国内の感染状況を報じる文脈でコロナと“случай”が頻繁に共起しているのに対して、民間メディアでは「カザフスタンでは 395,064 件の新型コロナウイルス感染症が確認された」(в Казахстане подтверждены 395 064 случая заражения коронавирусом)など、外国の感染状況を報じる文も多くみられた。

3.3 共起語分析の結果のまとめ

トルクメニスタンに関する報道を行う国営、民間、独立系の各メディアは、国際社会と同じく新型コロナウイルス感染症の拡大やパンデミックに言及していたが、メディア毎に次のような違いがみられた。国営メディアにおいて、コロナは「闘い」(борьба)や「抵抗」(противодействие)

などの語と共起が多く、“случай”との共起は確認されなかった。民間メディアは、国営メディアにみられる「闘い」(борьба)の語も、独立系メディアに特徴的な

“случай”も、共起語リストの上位10個の単語に含まれていた。しかし、民間メディアでコロナと“случай”が共起する文を確認すると、政府公式見解の国内感染者0を肯定的に報じる場面での使用と外国の感染状況を報じる文が確認された。これは“случай”が、3つのメディアのなかで最も共起しやすく、国内感染者が確認されていないことに頻繁に言及する独立系メディアとの明確な違いである。

表5 各メディアにおける“случай”の共起語

	国営メディア		民間メディア		独立系メディア	
1	пользоваться	利用する	заражение	感染症	заражение	感染症
2	летие	～周年	зафиксировать	記録する	covid	COVID-19
3	поздравление	お祝い	covid	COVID-19	зарегистрировать	登録する
4	день	日	заболевание	発病, 病気	один	1, ひとつ
5	праздник	祝日	летальный	致死の	страна	国
6	торжество	祝典	исход	終わり, 結果	зафиксировать	記録する
7	независимость	独立	зарегистрировать	登録する	подтвердить	確認する
8	годовщина	記念日	пользоваться	利用する	заболевание	発病, 病気
9	байрамы	バイラム	торжество	祝典	наличие	存在
10	курбан	クルバン	выявить	示す	отрицать	否定する

4. トピックモデルによる分析の結果

次に各メディアの新型コロナウイルスの単語を含む記事が、その記事のなかで何を話題としていたかを探索するために、トピック分析を行う。本研究では、Sinclair and Rockwell (2016) による Voyant Tools の潜在ディリクレ配分法 (Latent Dirichlet Allocation: LDA) によるトピックモデルを使用した[14]。このツールでは David Mimno による jsLDA が使用されている[15]。分析には、デフォルト設定である文書の最初の 1,000 語のみを使用した。

トピック数の探索においては、各トピックの Coherence の平均値を参考にした。トピック数を 5 ずつ増やして分析を行うと、coherence の値が図 (1) のように推移した。ここで解釈可能であり、coherence の値が比較的高いトピック数が 15 前後であると推測されたため、そのなかで分析者が解釈可能性が高いと判断したトピック数 15 を選択した。なお LDA のトピック数決定においては、Perplexity と Coherence 双方の指標を参照することが通例であるが、Voyant Tools では Perplexity の値が提示されていないため、今回は参照していない。

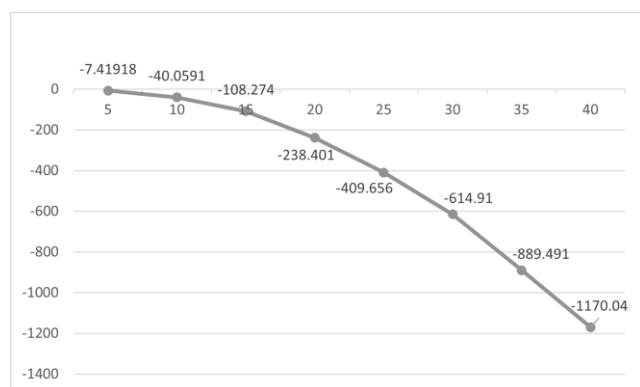


図 1 coherence の推移

また分析に際して、Voyant Tools のデフォルト設定にあるロシア語のストップワードに加えて、前置詞、接続詞、助動詞などの機能語と、トルクメニスタンのメディアに頻出する “здесь” (ここ), “сообщить/сообщать” (報じる), “более” (より), “туркменистан” (トルクメニスタン) を除外した。

4.1 各メディアのトピックの特徴

上記のとおり抽出された 15 のトピックと、その上位 5 つの高頻度語を表 (6) に示す。高頻度語は、先頭の単語ほどトピックへの貢献度が高い。トピック名は、分析者が高頻度語とそのトピック比率が高い記事を参照して、決定した。

表 (7) は、各メディアの記事が有する、それぞれのトピックの比率の平均値である。この値は Voyant Tools が算出した記事毎のトピック比率をメディア毎に集計し、Excel の AVERAGE 関数を使って計算した。

はじめに国営メディアの結果を確認すると、「国連・国際

組織」、「大統領・国家」、「経済発展」のトピック比率が高いことが分かる。「国連・国際組織」トピックには、国連総会での演説や公開討論の内容を報じる記事が多く含まれ、新型コロナウイルス感染症の文脈では、その対応における国際連携を呼びかけるものが多かった。「大統領・国家」トピックの高頻度語にある「グルバンгулы」(гурбангулы), 「ベルディムхамедов」(бердымухамедов)は、2007 年から 2022 年 3 月までトルクメニスタン第 2 代大統領を務めた人物の姓名である。先行研究において、トルクメニスタンでは大統領の個人崇拜が強くみられると指摘されているが[16]、新型コロナウイルス関連報道においても、他のトピックより大統領への関心が高いことが確認された。また「医療保健」、「ワクチン」トピックよりも、「経済発展」トピックの比率が高いことは、感染対策よりパンデミックによる経済への影響に関心が高いことを示している。

次に民間メディアの結果をみると、国営メディアと比較して、各トピックの比率が均等であることが分かる。しかし、そのなかでも「ワクチン」、「医療保健」トピックの値が比較的高く、これらのトピックが重視される傾向が伺えた。また国営メディアでは最も低かった「フライト・航空」トピックが、民間メディアでは 3 番目に比率の高いトピックとして挙がっている。このトピックには、感染拡大初期に国際線のフライトがキャンセルされるなどの混乱が生じたが、それらの運航が再開されることを報じる記事が含まれていた。「フライト・航空」トピックは、民間メディアに特徴的なトピックといえるだろう。同じく「スポーツ」トピックの比率も、3 つのメディアのなかで民間メディアの平均値が最も高く、同メディアの特徴のひとつと考えられる。反対に国営メディアで高かった「国連・国際組織」、「大統領・国家」、「経済発展」の 3 つのトピック比率は、いずれも顕著に高い或いは低い傾向はみられなかった。

最後に独立系メディアの結果を確認する。独立系メディアの特徴は、コロナウイルスに関連するトピックへの注目度が高い点にあるだろう。「人・コロナ」、「ワクチン」トピックは、同じ新型コロナウイルスの語を含む記事として抽出された国営メディアと民間メディアのデータと比較しても、記事全体における比率が高かった。また「外交会談」トピックも、3 つのメディアのなかで最も高く、独立系メディアのなかでも比率が高いトピックであった。このトピックは、パンデミック初期に感染対策として閉鎖された隣国イランやウズベキスタンとの国境の、開放に向けた交渉が行われる外交会談に関する記事などが含まれていた。

表6 トピックのラベルと上位5つの高頻度語

	トピック名	高頻度語	高頻度語の日本語訳
0	人・コロナ	человек covid новый издание слово	人, covid-19, 新しい, 出版, 言葉
1	大統領・仕事	президент бердымухамедов гурбангулы глава работа	大統領, ベルディムハメドフ, グルバングルイ, 首脳, 仕事
2	ワクチン	covid страна вакцина гражданин россия	covid-19, 国, ワクチン, 市民, ロシア
3	国家・発展	страна развитие новый государство национальный	国, 発展, 新しい, 国家, 国の
4	医療保健	здравоохранение covid медицинский страна заболевание	保健, covid-19, 医療, 国, 病気
5	フライト・航空	рейс ашхабад авиакомпания март covid	フライト, アシガバッド, 航空会社, 3月, covid-19
6	スポーツ	чемпионат игра мир олимпийский пройти	決勝戦, 試合, 世界, オリンピックの, 行う
7	国連・国際組織	международный оон организация мир государство	国際的な, 国連, 組織, 世界, 国家
8	大統領・国家	президент гурбангулы государство глава бердымухамедов	大統領, グルバングルイ, 国家, 首脳, ベルディムハメドフ
9	経済発展	развитие международный сотрудничество экономический организация	発展, 国際的な, 協力, 経済の, 組織
10	輸送・経済	транспортный страна регион экономический проект	輸送の, 国, 地域, 経済の, 計画
11	子ども・学校	ребёнок туркменский центр школа город	子ども, トルクメニスタンの, センター, 学校, 街
12	外交会談	сторона встреча министр covid мид	～側, 会談, 大臣, covid-19, 外務省
13	生産・製品	процент производство период объём продукция	パーセント, 生産, 期間, 量, 製品
14	パンデミック・経済	пандемия страна covid экономика глобальный	パンデミック, 国, covid-19, 経済, グローバルな

表7 それぞれのメディアにおける各トピックの比率

	Topic 0	Topic 1	Topic 2	Topic 3	Topic 4	Topic 5	Topic 6	Topic 7
国営	3.572464	6.677966	3.017663	7.084578	8.733084	2.547917	4.398634	11.50201
民間	7.112882	5.912733	9.212619	4.922058	8.780818	8.213478	7.253076	6.354381
独立系	10.12475	7.074772	11.30034	4.378217	8.35345	6.619845	4.847587	4.616271
	Topic 8	Topic 9	Topic 10	Topic 11	Topic 12	Topic 13	Topic 14	
国営	12.57299	14.04718	6.184059	4.463694	5.283282	5.18955	4.724924	
民間	6.849801	8.047967	5.065752	5.340988	6.448497	5.098828	5.386123	
独立系	5.017195	5.449239	5.114644	6.499626	9.34444	5.520886	5.73874	

4.2 代表的な記事の分析

最後に、新型コロナウイルスの語がどのような話題のなかで使用されていたかをより詳細に明らかにするために、コロナとの関連性が高い「ワクチン」トピックの代表文を分析する。

「ワクチン」のトピック比率を最も高く有する記事2つは、どちらもトルクメニスタン政府によるロシア製COVID-19 ワクチン「スプートニク V」の購入に関する記事であった。トルクメニスタン外務省の発表を、民間メディアと独立系メディアの双方が報じていた[17][18]。

民間メディアの当該記事では、「スプートニク・ライトは現在 15 カ国以上で登録されており、さらに 30 カ国で登録手続き中である」(«Спутник Лайт» в настоящий момент зарегистрирован более чем в 15 странах и ещё в 30 странах препарат находится в процессе регистрации.) や「臨床試験の結果、スプートニク・ライトの有効性は 79.4%だった」(после проведения клинических исследований эффективность «Спутник Лайт» составила 79,4%.) のように、ワクチンの有効性や外国における登録状況について報じられていた。他方、独立系メディアでは「それ(トルクメニスタン保健省のワクチン接種率に関するデータ)によると、これまでに同国の成人人口の 80%がワクチン接種を受けている」(согласно которым на сегодняшний день в стране вакцинировано 80% взрослого населения) や「残りの 92.4%は中国の医薬品シノファームまたはロシアのエピバックコロナでワクチン接種を受けた」(Остальные 92,4% привиты китайским препаратом Sinopharm или российским «ЭпиВакКорона») のように、国内のワクチン接種状況への言及が多くみられた。

本研究では、「ワクチン」のトピック比率が高い記事を網羅的に分析することができなかったため、民間メディアにも国内の接種状況を報じる記事が掲載されている可能性はある。しかし、上記の他に「ワクチン」のトピック比率が高い民間メディアの記事では、外国政府による入国時の検疫措置においてワクチン接種が必要とされることがや、他国におけるコロナ政策の変更などが報道されていた[19][20][21]。これに対して、独立系メディアにおいて「ワクチン」のトピック比率が高い記事では、国内のワクチン接種状況への言及の他、外国にいるトルクメニスタン国籍の市民の感染状況が報じられていた[22]。

4.3 トピックモデルによる分析結果のまとめ

トピックモデルによる分析の結果、各メディアには以下のような特徴がみられることが分かった。

まず国営メディアは、新型コロナウイルスの語を含む記事に限っても、「国連・国際組織」や「大統領・国家」トピックへの注目度が高く、また感染対策よりも「経済発展」への関心が高いことが明らかになった。他方、民間メディアは「ワクチン」や「医療保健」の他に、パンデミック拡

大による国際線の混乱と再開を報じる「フライト・航空」トピックや、エンターテインメントである「スポーツ」のトピック比率が高かった。また民間メディアと独立系メディアの双方で関心が高い「ワクチン」トピックの代表文を分析すると、その記事内容や報道の仕方に違いがあることが分かった。即ち民間メディアでは、ワクチンの有効性に関する情報や外国のニュースが多く観察されるが、独立系メディアでは国内状況への言及が多くみられた。独立系メディアは、トピック比率をみても新型コロナウイルスと直接的な関連性をもつ話題への関心が高い傾向がみられ、国営メディアや民間メディアと比べて、国内の新型コロナウイルス感染症に関する情報が多く掲載されているとみられた。

5. おわりに

本研究では、トルクメニスタンのオンラインニュースサイトにおける新型コロナウイルス関連記事を対象に、同国のメディアがコロナを意味する単語をどのような文脈・テーマで使用していたかを分析した。最後に、分析結果に対して簡単な解釈を試みる。

権威主義体制は、体制の維持のために抑圧、懐柔、正統化の3つの統治手段を用いると論じられる[23]。本研究では、この議論をトルクメニスタンにおける新型コロナウイルスに関連する情報の統制の文脈に適用する。

まず国内の感染状況は、トルクメニスタンにおいて抑圧される情報であると解釈できるだろう。本研究の共起語分析で明らかになったように、国営メディアでは感染者数への言及がみられず、民間メディアは感染者0の政府公式見解を繰り返すか、国外の状況への言及にとどまった。国内感染状況を報じている独立系メディアが、活動拠点を国外に移し政府方針とは異なる独自の報道活動を行うメディアであることは、既に述べたとおりである。

また「2.1 データの説明」で述べたように、国営メディアは実質的に政府の指導下にあることから、同メディアの報道内容の多くは政府による統治の正統性のアピールと考えられる。本研究の分析でも確認したように、国営メディアは感染状況より、コロナとの闘いやパンデミックへの抵抗への言及が多かった。これは政府が危機に正しく対応していることのアピールと解釈できる。また新型コロナウイルスの語を含む記事全体としても、国際社会や経済への注目が高かった。これも国際社会や経済分野における政府のパフォーマンスの高さを示し、体制による統治の正統化を図っていると解釈できる。

民間メディアにのみ特徴的にみられる国際線のフライト情報やスポーツ、他国の感染状況などは、抑圧と正統化のどちらにもあたらない情報の類だと考えられる。これは体制維持を目標とする権威主義体制の統治手段としては、懐柔にあたると解釈できる。国営メディアでは報じられないが、民間メディアで報じられるニュースは、政府が国内でその

情報が流布することを許容しているといえる。それは部分的な情報空間の自由を許し、市民の不安を緩和することを目的としていると解釈することができ、先の3つの統治手段においては懐柔にあたると考えられる。

本研究の今後の課題は、次の2点である。まず本研究は、3年5カ月にわたる記事を一つの時間的単位として分析した。しかし、対象期間のデータをいくつかに分けて、時系列変化を分析することも可能である。感染者数の推移やワクチンの開発・接種開始など、国際社会やトルクメニスタンの社会に大きな影響をもたらした出来事を区切りに、対象期間内の記事を時間軸で比較することで、同国における新型コロナウイルスに関する情報統制を、より詳細に分析できる。また本研究では、“covid” 或いは“コロナ”の文字列を含む記事を対象に、それらの語が各メディアでどのように使用されていたかを分析したが、「肺炎」(пневмония)や「感染性の病」(инфекционная болезнь), (инфекционной заражение) など別の表現が使われた際に、新型コロナウイルスに関する情報がどのように扱われていたかは確認できなかった。今後は、これらの言い換えられた表現をどのように分析に含めるかも検討したい。

参考文献

- [1] エリカ・フランツ：権威主義―独裁政治の歴史と変貌（上谷直克，今井宏平，中井遼訳），白水社，pp. 129-137 (2018).
- [2] Guriev, S. and Treisman, D : Spin Dictators, Princeton University Press (2022).
- [3] 外務省：トルクメニスタン（Turkmenistan）基礎データ，入手先 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/turkmenistan/data.html>（参照 2025-04-20）。
- [4] 宇山智彦：トルクメニスタン-ニヤゾフの個人崇拜-，中央アジアを知るための60章，明石書店，p218 (2017).
- [5] Freedom House : Freedom in the World 2024 Turkmenistan, 入手先 <https://freedomhouse.org/country/turkmenistan/freedom-world/2024>（参照 2025-04-22）。
- [6] World Health Organization Data : WHO COVID-19 dashboard, 入手先 <https://data.who.int/dashboards/covid19/cases>，（参照 2025-04-20）。
- [7] Newsweek : One Nation Banned the Word 'Coronavirus' to Suppress Information About the Pandemic, 入手先 <https://www.newsweek.com/one-nation-banned-word-coronavirus-suppress-information-about-pandemic-1495280>，（参照 2025-04-20）。
- [8] Туркменистан: Золотой век : Закон Туркменистана о лицензировании отдельных видов деятельности, 入手先 <https://turkmenistan.gov.tm/index.php/ru/post/34942/zakon-turkmenistana-o-litsenzirovanii-otdelnykh-vidov-deyatelnosti-novaya-redaktsiya>，（参照 2025-04-20）。
- [9] Туркменистан: Золотой век : Закон Туркменистана О средствах массовой информации, 入手先 <https://turkmenistan.gov.tm/ru/post/18706/zakon-turkmenistana-o-sredstvakh-massovoi-informatsii>，（参照 2025-04-20）。
- [10] Anthony, L. : TagAnt (Version 2.1.1) [Computer Software] , 入手先 <https://www.laurenceanthony.net/software/TagAnt> (2024) 。
- [11] Honnibal, M. and Montani, I. and Van Landeghem, S. and Boyd, A. : spaCy: Industrial-strength Natural Language Processing in Python, 入手先 [10.5281/zenodo.1212303](https://zenodo.org/record/1212303) (2020).
- [12] Anthony, L. : AntConc (Version 4.3.1) [Computer Software] , 入手先 <https://www.laurenceanthony.net/software/AntConc> (2024) 。
- [13] Turkmen Portal : В Туркменистане провели брифинг по противодействию COVID-19, 入手先 <https://turkmenportal.com/blog/28002/v-turkmenistane-proveli-brifing-po-protivodeistviyu-covid19>（参照 2025-04-20）。
- [14] Sinclair, S. and Rockwell, G. : Voyant Tools, 入手先 <http://voyant-tools.org/> (2016) 。
- [15] Mimno, D. : jsLDA: An implementation of latent Dirichlet allocation in javascript, 入手先 <https://github.com/mimno/jsLDA> 。
- [16] 宇山智彦，樋渡雅人編：現代中央アジア 政治・経済・社会，日本評論社，pp. 25-26 (2018).
- [17] Turkmen Portal : Туркменистан зарегистрировал облегченный вариант российской вакцины «Спутник V», 入手先 <https://turkmenportal.com/blog/42752>（参照 2025-04-21）。
- [18] Хроника Туркменистана : С начала пандемии Туркменистан закупил 600 тысяч доз вакцины «Спутник V», 入手先 <https://www.hronikatm.com/2021/12/600-thousand-sputnik-v/>（参照 2025-04-21）。
- [19] Turkmen Portal : Израиль с 15 июня отменяет обязательное ношение масок в помещениях, 入手先 <https://turkmenportal.com/blog/37245/izrail-s-15-iyunya-otmenyaet-obyazatelnoe-noshenie-masok-v-pomeshcheniyah>（参照 2025-04-21）。
- [20] Turkmen Portal : Саудовская Аравия открывает границы с 17 мая, 入手先 <https://turkmenportal.com/blog/36341/saudovskaya-araviya-otkryvaet-granicy-s-17-maya>（参照 2025-04-21）。
- [21] Turkmen Portal : США открыли границы для вакцинированных туристов, 入手先 <https://turkmenportal.com/blog/41273/ssh-a-otkryli-granicy-dlya-vakcinirovannyh-turistov>（参照 2025-04-21）。
- [22] Хроника Туркменистана : 19 граждан Туркменистана заразились COVID-19 в Пермском крае, 入手先 <https://www.hronikatm.com/2020/06/tm-infected-in-perm/>（参照 2025-04-21）。
- [23] Gerschewski, J.: The three pillars of stability: legitimization, repression, and co-optation in autocratic regimes, Democratization, Vol. 20, No. 1, pp. 13–38 (2013).

付録

分析結果の詳細は、以下の URL からアクセス可能である。<https://github.com/suzuki-asaka/CH138>